

## パラグアイ主要経済指標( 9月 )

### I 為替相場

(1) 対ドル(Gs/US\$)

9月の対ドル為替レート(Gs/US\$)は5,821Gsとなった。なお、2016年4月以降、変動幅が小さい。

(2) 対ユーロ(Gs/EURO)

9月の対ユーロ為替レート(Gs/EURO)は6,876Gsとなった。2016年5月以降、変動幅が小さい。

### II 消費者物価指数

(1) 消費者物価指数(総合)

9月の消費者物価指数(総合)は0.4%となり、年間累計値は2.2%となった。

(2) コア・インフレ

9月のコア・インフレ率は0.3%となり、年間累計値は2.9%となった。

### III 貿易

輸出総額(9月)は、対前年比6.1%となった。(大豆種子6.7%、大豆油1.6%増、大豆粉32.2%、穀物類-2.1%、牛肉3.3%増、自動車部品(ハーネス)21.2%増、電力1.5%増、その他2.3%増となった。)

### IV 外貨準備高

9月末の外貨準備高は、約7,959百万米ドルであった。

### V 対外累積債務

7月末の対外累積債務は、約6,205百万米ドルであった。

### VI 最低賃金、失業率

最低賃金: 月給2,112,562グアラニ (日給81,252グアラニ) (2018年7月~)  
失業率: 5.3%(2017年)

### VII 実質GDP・名目GDP・経済成長率

2017年の経済成長率(暫定値)は4.8%、2016年の経済成長率は4.3%であった。

### VIII 9月のトピックス

- 1 機械類(農機、道路・建設用機械)の輸入が増加
- 2 ディエサ・グループ、ホンダ二輪車の新モデルを発表
- 3 大豆輸出、中国企業COFCOが首位
- 4 商工大臣、商工省のサービス改善、Rediex再活性化、密輸対策を重視
- 5 ウーバー社が財務省と会合:パラグアイ進出に向けて税制を調査
- 6 外国直接投資 2017年に22.9%増加:中央銀行発表

## I 為替相場(パラグアイ中央銀行発表)

### 1 為替レート概要(月平均値, 売値)

#### (1) 対ドル(Gs/US\$)

9月の対ドル為替レート(Gs/US\$)は5,821Gsとなった。なお、2016年4月以降、変動幅が小さい。

#### (2) 対ユーロ(Gs/EURO)

9月の対ユーロ為替レート(Gs/EURO)は6,876Gsとなった。2016年5月以降、変動幅が小さい。

#### (3) 対リアル(Gs/REAL)

9月の対リアル為替レート(Gs/REAL)は1,402Gsとなった。

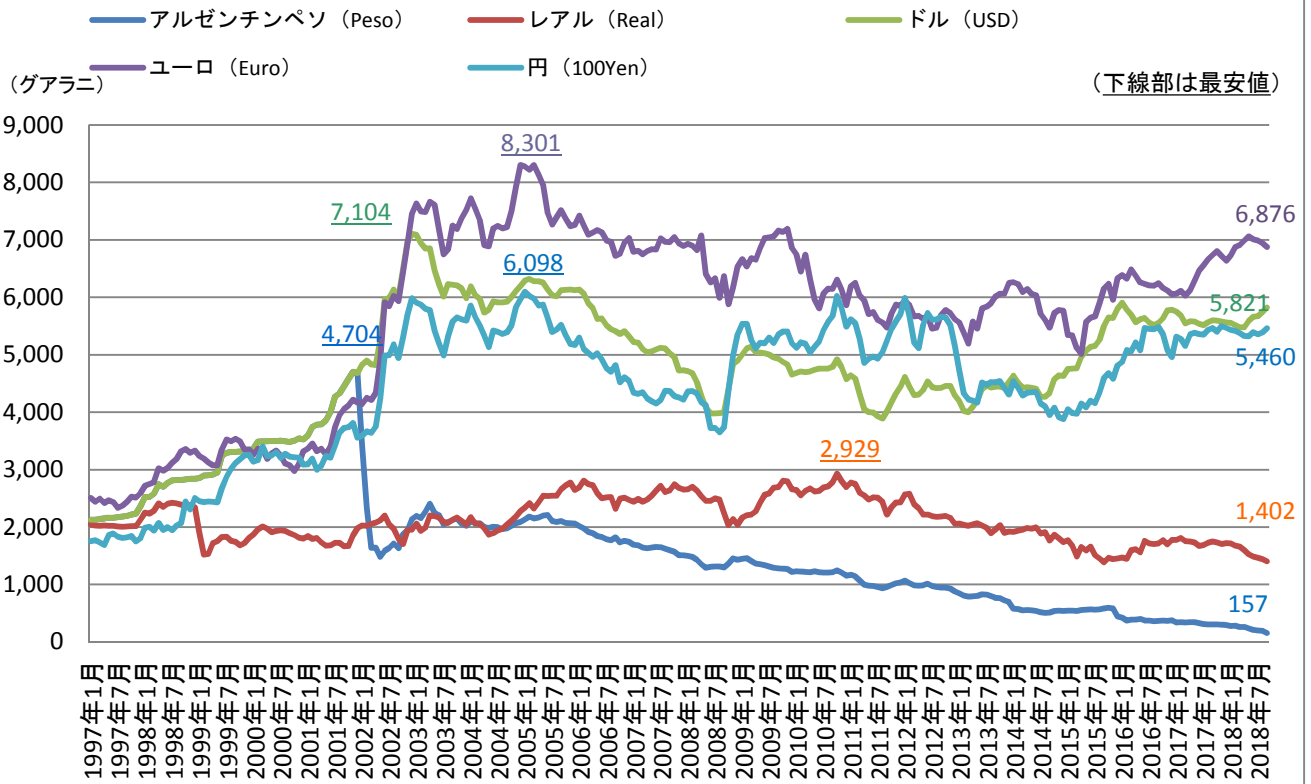
#### (4) 対アルゼンチンペソ(Gs/PESO)

9月の対アルゼンチンペソ為替レート(Gs/PESO)は157Gsとなった。

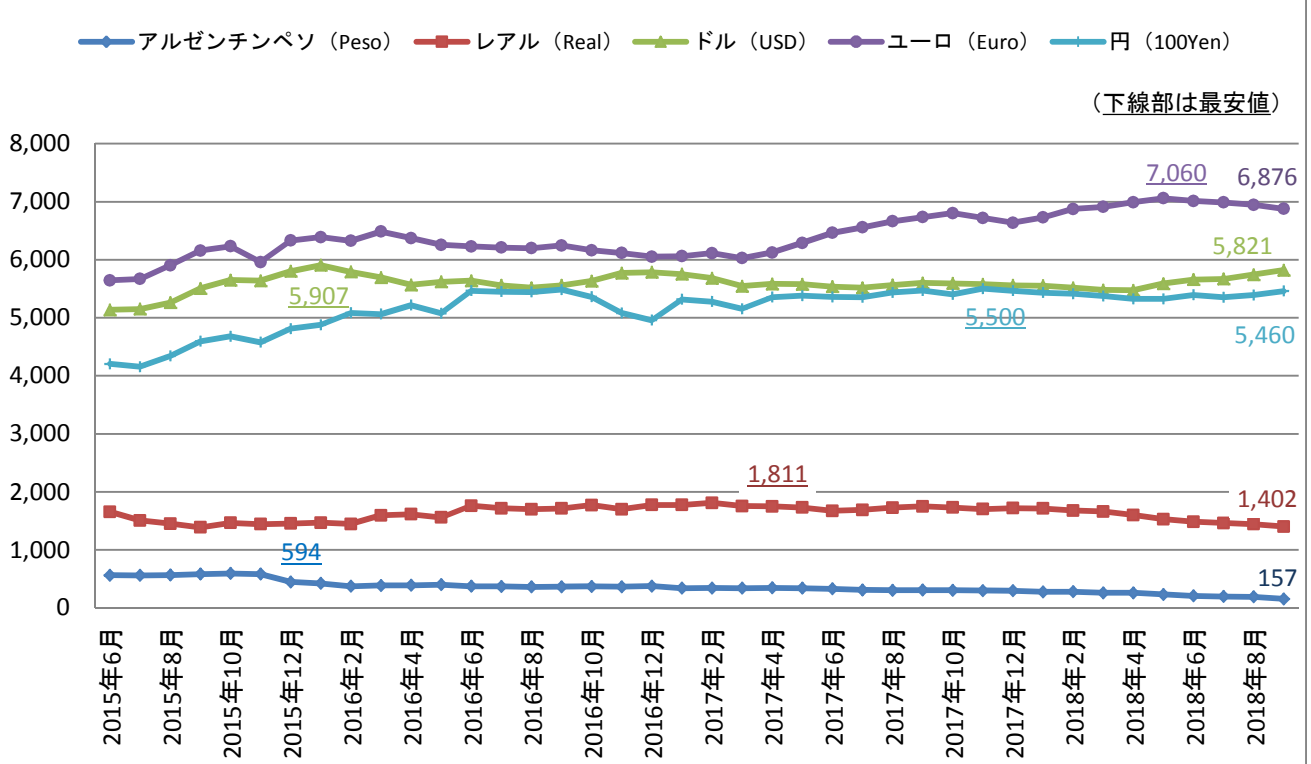
(2015年~2018年)

年/月	ドル(USD)	ユーロ(Euro)	リアル(Real)	亜ペソ(Peso)	円(100Yen)
2015年 9月	5,507	6,157	1,388	585	4,595
2015年 10月	5,651	6,233	1,466	594	4,679
2015年 11月	5,639	5,959	1,443	582	4,578
2015年 12月	5,802	6,332	1,455	447	4,813
2016年 1月	5,907	6,388	1,468	425	4,878
2016年 2月	5,792	6,325	1,448	375	5,084
2016年 3月	5,695	6,485	1,596	389	5,061
2016年 4月	5,568	6,374	1,614	390	5,216
2016年 5月	5,619	6,256	1,560	400	5,076
2016年 6月	5,639	6,230	1,761	375	5,464
2016年 7月	5,560	6,210	1,717	371	5,450
2016年 8月	5,517	6,200	1,701	362	5,445
2016年 9月	5,558	6,246	1,714	365	5,485
2016年 10月	5,633	6,163	1,772	371	5,361
2016年 11月	5,773	6,116	1,699	364	5,083
2016年 12月	5,786	6,054	1,775	376	4,957
2017年 1月	5,751	6,061	1,774	340	5,317
2017年 2月	5,682	6,113	1,811	344	5,278
2017年 3月	5,546	6,027	1,756	340	5,153
2017年 4月	5,585	6,125	1,749	347	5,356
2017年 5月	5,578	6,290	1,730	342	5,380
2017年 6月	5,537	6,463	1,672	329	5,358
2017年 7月	5,517	6,558	1,689	312	5,351
2017年 8月	5,566	6,661	1,728	306	5,434
2017年 9月	5,602	6,735	1,750	306	5,469
2017年 10月	5,592	6,804	1,730	304	5,402
2017年 11月	5,578	6,720	1,702	300	5,500
2017年 12月	5,559	6,637	1,721	296	5,467
2018年 1月	5,553	6,730	1,715	278	5,433
2018年 2月	5,516	6,875	1,677	281	5,414
2018年 3月	5,480	6,911	1,661	261	5,375
2018年 4月	5,475	6,990	1,601	261	5,325
2018年 5月	5,591	7,060	1,528	232	5,323
2018年 6月	5,659	7,011	1,486	209	5,395
2018年 7月	5,671	6,989	1,464	198	5,353
2018年 8月	5,743	6,946	1,445	191	5,391
2018年 9月	5,821	6,876	1,402	157	5,460

### 対グアラニ為替相場(月平均値)



### 対グアラニ為替相場(月平均値:直近3年間)



## II 消費者物価指数(パラグアイ中央銀行発表)

### 1 消費者物価指数概要

#### (1) 消費者物価指数(総合)

9月の消費者物価数(総合)は0.4%となり、年間累計値は2.2%となった。

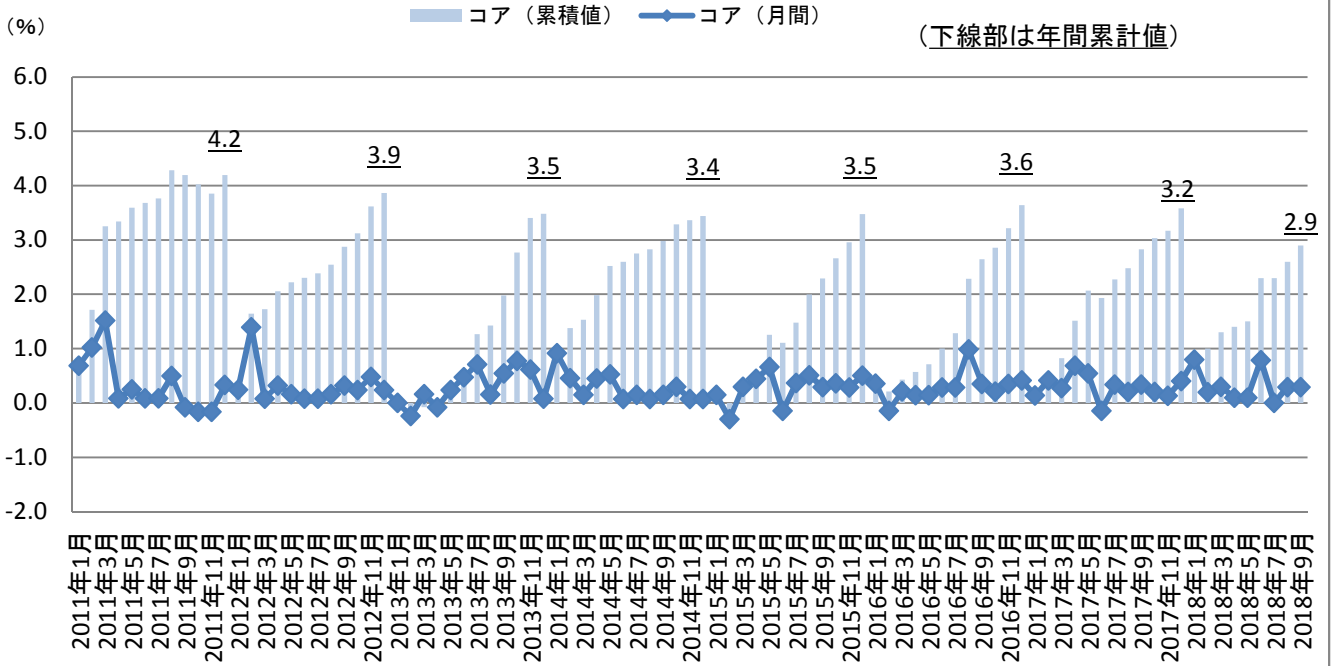
#### (2) コア・インフレ

9月のコア・インフレ率は0.3%となり、年間累計値は2.9%となった。

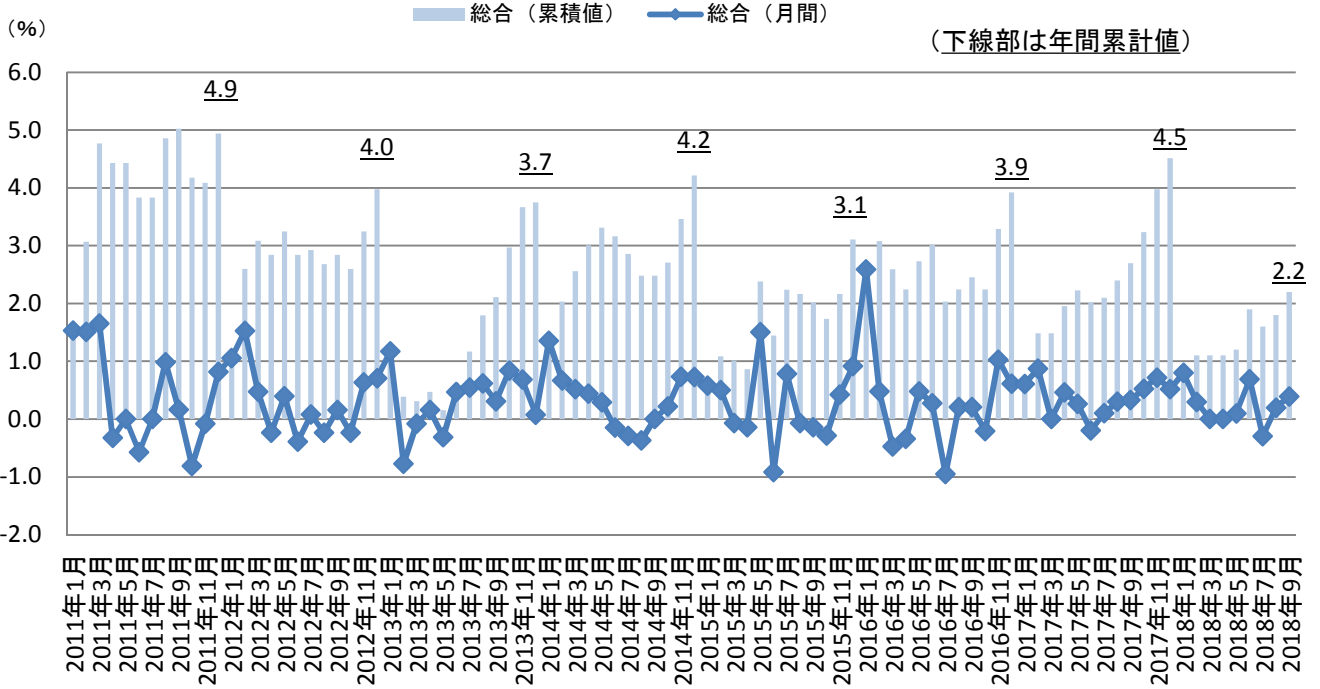
### 2 消費者物価指数一覧表 (2015年~2018年)

年/月	消費者物価指数(総合)(%)		コア・インフレ(%)	
	月間	累積	月間	累積
2015年 1月	0.6	0.6	0.1	0.1
2015年 2月	0.5	1.1	-0.3	-0.1
2015年 3月	-0.1	1.0	0.3	0.1
2015年 4月	-0.1	0.9	0.4	0.6
2015年 5月	1.5	2.4	0.7	1.3
2015年 6月	-0.9	1.4	-0.1	1.1
2015年 7月	0.8	2.2	0.4	1.5
2015年 8月	-0.1	2.2	0.5	2.0
2015年 9月	-0.1	2.0	0.3	2.3
2015年 10月	-0.3	1.7	0.4	2.7
2015年 11月	0.4	2.2	0.3	3.0
2015年 12月	0.9	3.1	0.5	3.5
2016年 1月	2.6	2.6	0.4	0.4
2016年 2月	0.5	3.1	-0.1	0.2
2016年 3月	-0.5	2.6	0.2	0.4
2016年 4月	-0.3	2.2	0.1	0.6
2016年 5月	0.5	2.7	0.1	0.7
2016年 6月	0.3	3.0	0.3	1.0
2016年 7月	-1.0	2.0	0.3	1.3
2016年 8月	0.2	2.2	1.0	2.3
2016年 9月	0.2	2.5	0.3	2.6
2016年 10月	-0.2	2.2	0.2	2.9
2016年 11月	1.0	3.3	0.3	3.2
2016年 12月	0.6	3.9	0.4	3.6
2017年 1月	0.6	0.6	0.1	0.1
2017年 2月	0.9	1.5	0.4	0.6
2017年 3月	0.0	1.5	0.3	0.8
2017年 4月	0.5	2.0	0.7	1.5
2017年 5月	0.3	2.2	0.5	2.1
2017年 6月	-0.2	2.0	-0.1	1.9
2017年 7月	0.1	2.1	0.3	2.3
2017年 8月	0.3	2.4	0.2	2.5
2017年 9月	0.3	2.7	0.3	2.8
2017年 10月	0.5	3.2	0.2	3.0
2017年 11月	0.7	4.0	0.1	3.2
2017年 12月	0.5	4.5	0.4	3.6
2018年 1月	0.8	0.8	0.8	0.8
2018年 2月	0.3	1.1	0.2	1.0
2018年 3月	0.0	1.1	0.3	1.3
2018年 4月	0.0	1.1	0.1	1.4
2018年 5月	0.1	1.2	0.1	1.5
2018年 6月	0.7	1.9	0.8	2.3
2018年 7月	-0.3	1.6	0.0	2.3
2018年 8月	0.2	1.8	0.3	2.6
2018年 9月	0.4	2.2	0.3	2.9

## コア・インフレ率(前月比・累計値)



## インフレ率(前月比・累計値)



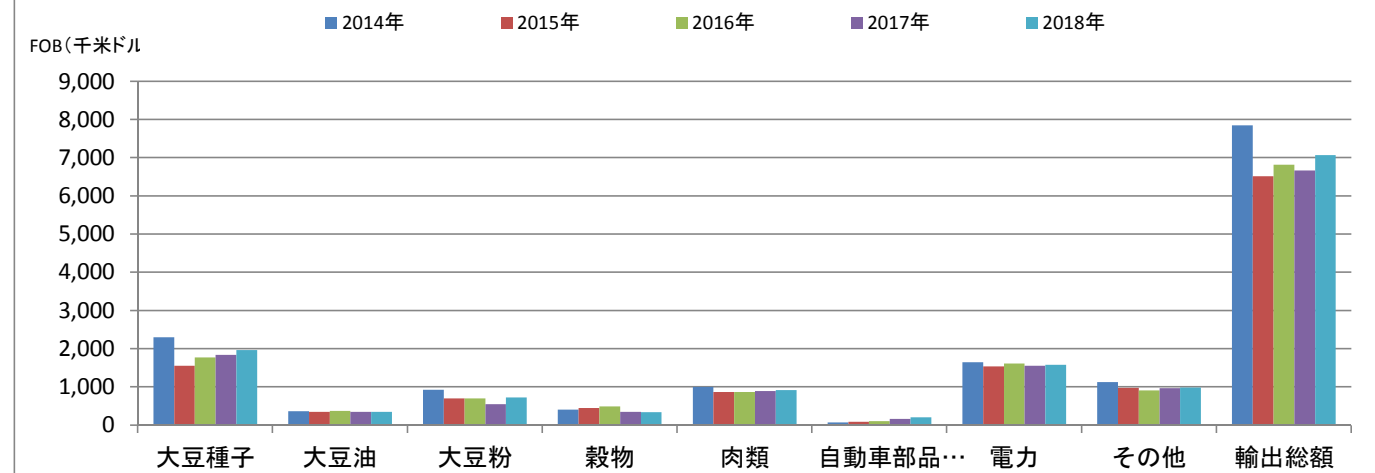
### Ⅲ 貿易(パラグアイ中央銀行発表)

#### 1 主要輸出品目別輸出総額(1月～9月)

単位(千米ドル)

年/月	大豆種子	大豆油	大豆粉	穀物	肉類	自動車部品 (ハーネス)	電力	その他	輸出総額
2014年 1月～9月	2,298,958	369,137	923,637	405,283	1,000,947	68,261	1,649,858	1,130,538	7,846,620
2015年 1月～9月	1,553,659	346,064	702,449	449,175	866,195	88,293	1,535,533	973,532	6,514,899
2016年 1月～9月	1,771,014	371,040	697,134	492,354	865,191	104,050	1,612,144	907,735	6,820,662
2017年 1月～9月	1,843,477	344,300	547,891	345,918	890,714	167,836	1,559,048	966,594	6,665,779
2018年 1月～9月	1,966,942	349,788	724,437	338,551	919,945	203,406	1,583,083	988,798	7,074,950
前年比度(2017/2018)	6.7%	1.6%	32.2%	-2.1%	3.3%	21.2%	1.5%	2.3%	6.1%

#### 主要輸出品目別輸出総額(2018年1月～9月)

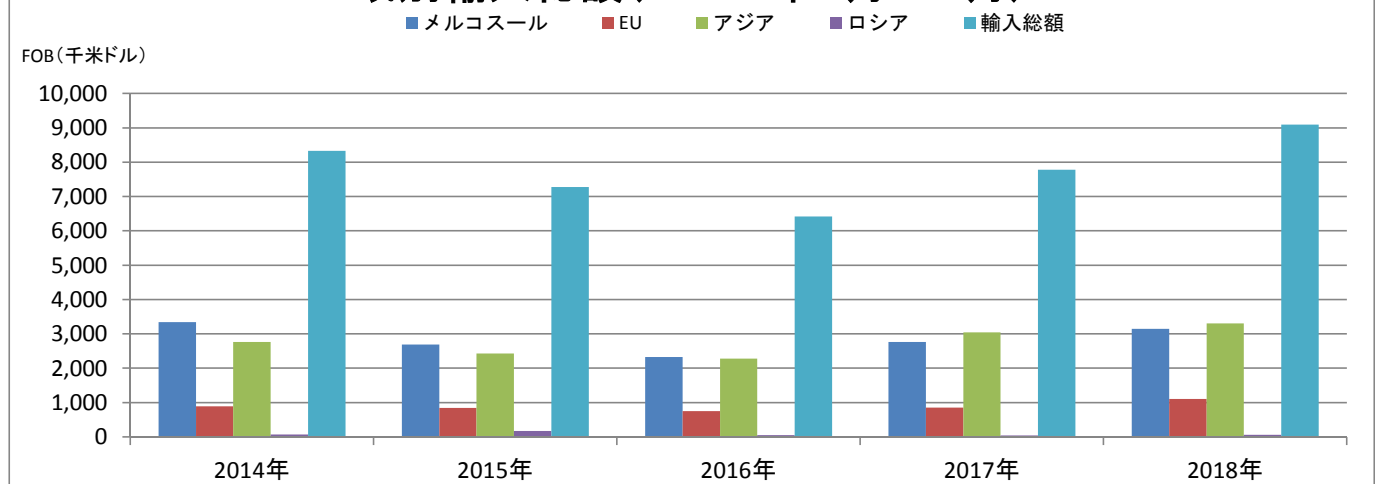


#### 2 輸入総額(1月～9月)

単位(千米ドル)

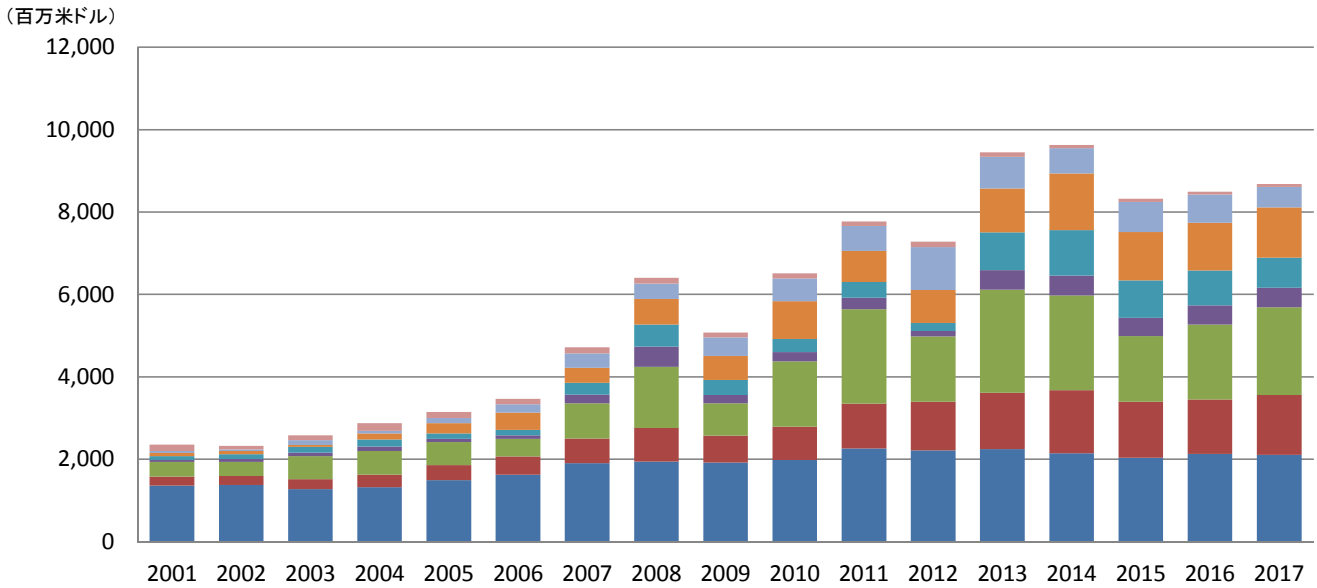
年/月	メルコスール	EU	アジア	ロシア	その他	輸入総額
2014年 1月～9月	3,347,675	894,334	2,769,663	77,888	1,239,814	8,329,373
2015年 1月～9月	2,689,861	847,947	2,431,671	176,196	1,132,253	7,277,927
2016年 1月～9月	2,334,365	751,848	2,284,854	57,168	990,636	6,418,871
2017年 1月～9月	2,764,420	855,592	3,043,646	50,307	1,067,435	7,781,400
2018年 1月～9月	3,149,476	1,104,651	3,312,651	60,313	1,473,446	9,100,536
前年比度(2017/2018)	13.9%	29.1%	8.8%	19.9%	38.0%	17.0%

#### 域別輸入総額(2018年1月～9月)



## 主要輸出品目別

■ 電力 ■ その他（工業産品含） ■ 大豆種子 ■ 大豆油 ■ 大豆粉 ■ 肉類 ■ 穀物類 ■ その他農産品

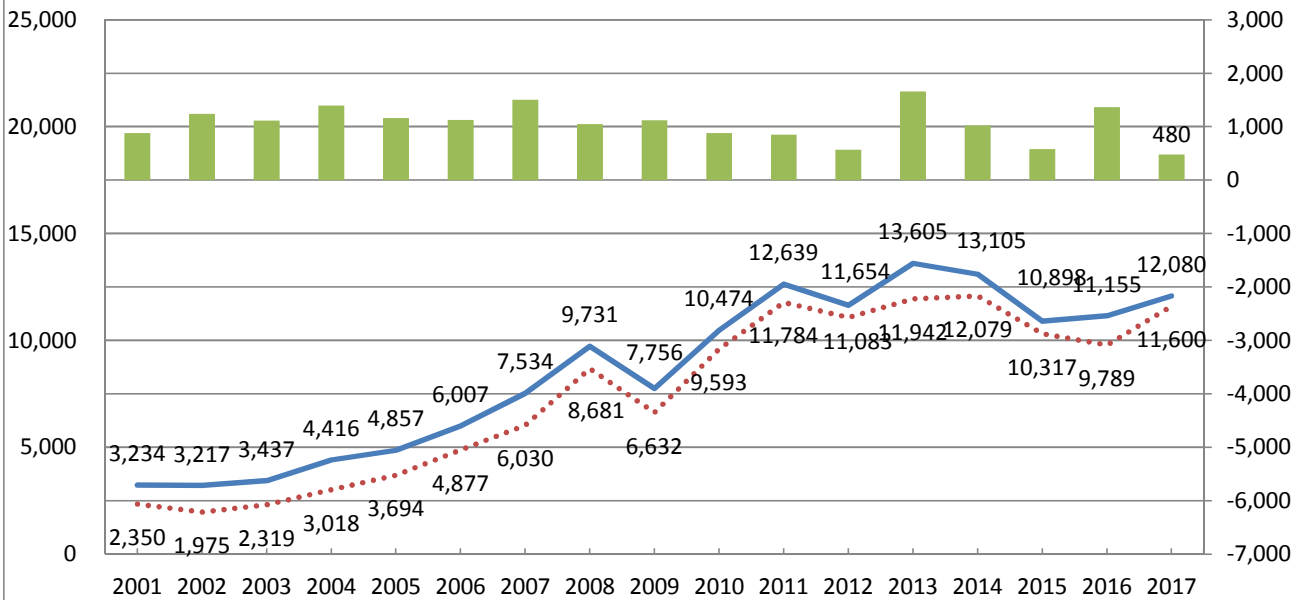


## 貿易(輸出入総額・貿易収支)

輸出入  
(百万米ドル)

■ 貿易収支 ■ 輸出 ●●● 輸入

貿易収支  
(百万米ドル)



#### IV 外貨準備高(パラグアイ中央銀行発表)

##### 1 外貨準備高概要

9月末の外貨準備高は、約7,959百万米ドルであった。

##### 2 外貨準備高一覧(年末値, 月末値)

(2015年~2018年)

(百万米ドル)

年	年末値
2000年 12月	723
2001年 12月	641
2002年 12月	983
2003年 12月	1,168
2004年 12月	1,293
2005年 12月	1,703
2006年 12月	2,462
2007年 12月	2,864
2008年 12月	3,861
2009年 12月	3,861
2010年 12月	4,168
2011年 12月	4,984
2012年 12月	4,994
2013年 12月	5,871
2014年 12月	6,891
2015年 12月	6,200
2016年 12月	7,144
2017年 12月	8,140

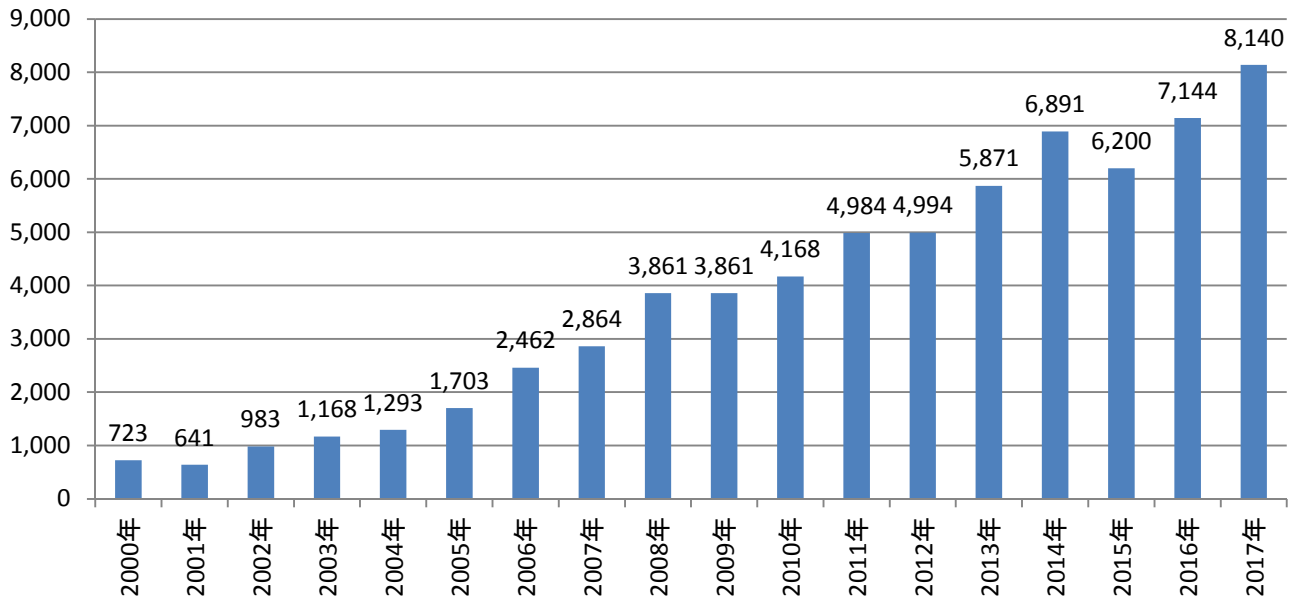
(百万米ドル)

年	月末値
2015年 1月	6,806
2015年 2月	6,721
2015年 3月	6,672
2015年 4月	7,066
2015年 5月	7,077
2015年 6月	7,100
2015年 7月	6,902
2015年 8月	6,771
2015年 9月	6,508
2015年 10月	6,336
2015年 11月	6,247
2015年 12月	6,200
2016年 1月	6,001
2016年 2月	5,858
2016年 3月	6,633
2016年 4月	6,829
2016年 5月	6,867
2016年 6月	6,882
2016年 7月	6,851
2016年 8月	6,902
2016年 9月	7,000
2016年 10月	6,924
2016年 11月	6,896
2016年 12月	7,144
2017年 1月	7,083
2017年 2月	7,173
2017年 3月	7,803
2017年 4月	7,811
2017年 5月	7,909
2017年 6月	8,007
2017年 7月	8,016
2017年 8月	8,067
2017年 9月	8,100
2017年 10月	7,971
2017年 11月	8,020
2017年 12月	8,140
2018年 1月	8,156
2018年 2月	8,183
2018年 3月	8,771
2018年 4月	8,841
2018年 5月	8,626
2018年 6月	8,440
2018年 7月	8,450
2018年 8月	8,177
2018年 9月	7,959



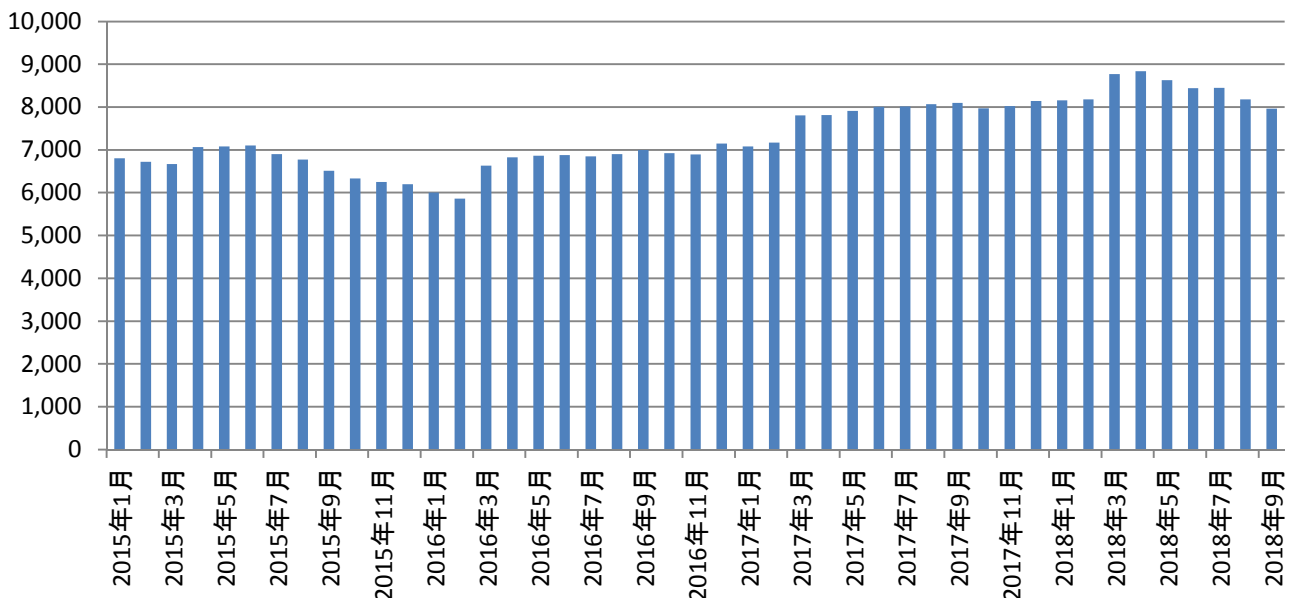
## 外貨準備高：年末値

(百万米ドル)



## 外貨準備高：月末値(2015年～2018年)

(百万米ドル)



## V 対外累積債務(パラグアイ中央銀行発表)

### 1 対外累積債務概要

7月末の対外累積債務は、約6,205百万米ドルであった。

### 2 対外累積債務一覧(年末値, 月末値) (千米ドル)

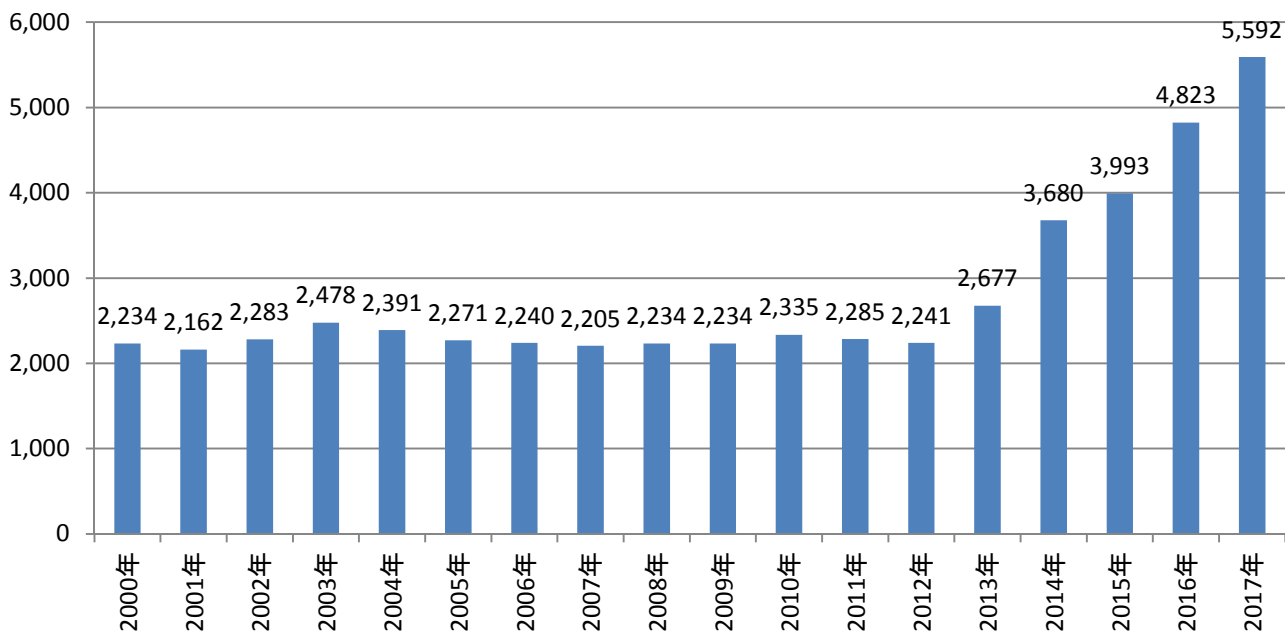
年	年末値
2000年 12月	2,234,322
2001年 12月	2,162,407
2002年 12月	2,283,051
2003年 12月	2,477,573
2004年 12月	2,390,687
2005年 12月	2,271,139
2006年 12月	2,240,448
2007年 12月	2,205,330
2008年 12月	2,234,198
2009年 12月	2,234,233
2010年 12月	2,335,425
2011年 12月	2,284,723
2012年 12月	2,241,060
2013年 12月	2,677,032
2014年 12月	3,679,598
2015年 12月	3,993,084
2016年 12月	4,822,606
2017年 12月	5,592,272

### (2014年~2018年) (千米ドル)

年	月末値
2014年 1月	2,664,342
2014年 2月	2,656,189
2014年 3月	2,681,312
2014年 4月	2,690,146
2014年 5月	2,683,411
2014年 6月	2,677,604
2014年 7月	2,660,660
2014年 8月	3,648,831
2014年 9月	3,629,087
2014年 10月	3,628,449
2014年 11月	3,604,216
2014年 12月	3,679,598
2015年 1月	3,679,212
2015年 2月	3,670,452
2015年 3月	3,665,989
2015年 4月	3,931,070
2015年 5月	3,932,823
2015年 6月	3,934,322
2015年 7月	3,913,548
2015年 8月	3,918,582
2015年 9月	3,923,794
2015年 10月	3,907,839
2015年 11月	3,901,630
2015年 12月	3,993,084
2016年 1月	3,979,611
2016年 2月	3,976,494
2016年 3月	4,571,208
2016年 4月	4,632,521
2016年 5月	4,645,744
2016年 6月	4,661,321
2016年 7月	4,664,740
2016年 8月	4,652,052
2016年 9月	4,656,467
2016年 10月	4,656,042
2016年 11月	4,671,876
2016年 12月	4,822,606
2017年 1月	4,829,851
2017年 2月	4,833,956
2017年 3月	5,351,630
2017年 4月	5,344,427
2017年 5月	5,472,838
2017年 6月	5,533,131
2017年 7月	5,540,885
2017年 8月	5,569,010
2017年 9月	5,542,724
2017年 10月	5,533,230
2017年 11月	5,577,638
2017年 12月	5,592,272
2018年 1月	5,589,868
2018年 2月	5,608,653
2018年 3月	6,142,862
2018年 4月	6,155,352
2018年 5月	6,144,580
2019年 6月	6,178,726
2019年 7月	6,205,068

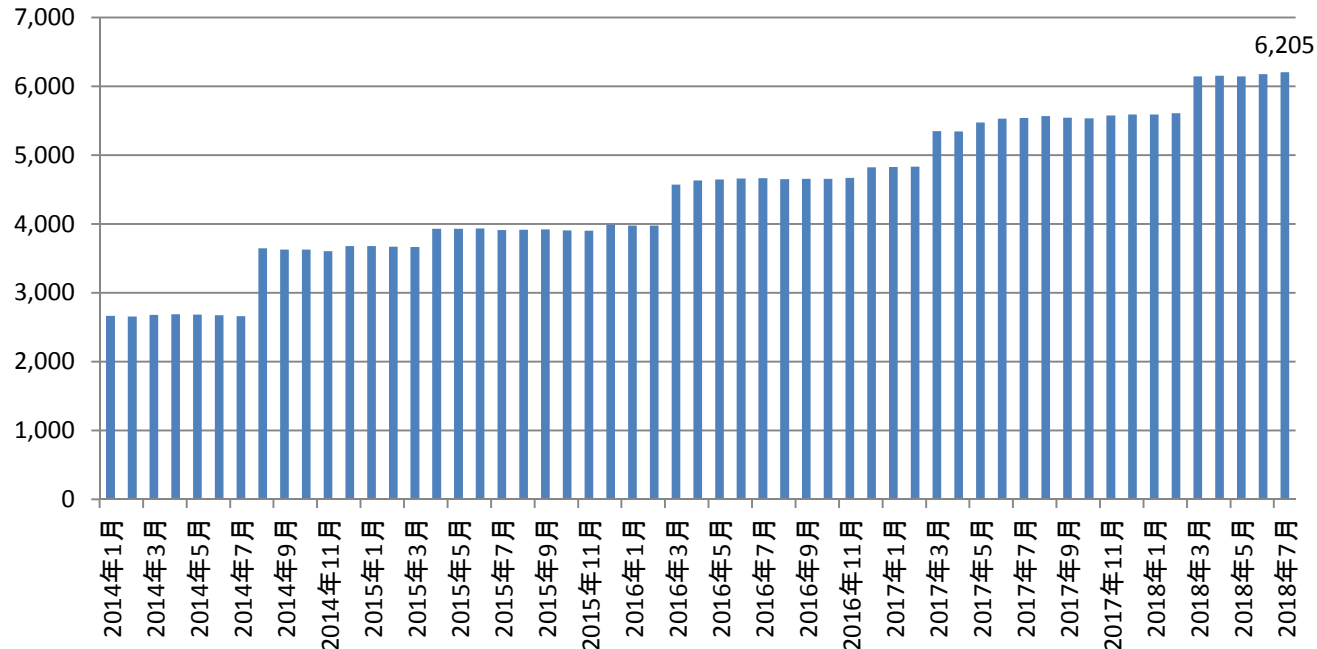
## 対外累積債務：年末値

(百万米ドル)



## 対外累積債務：月末値(2014年～2018年)

(百万米ドル)



## VI 最低賃金・失業率

### 1 最低賃金の推移

2016年11月までは、直近の最低賃金改定月以降の消費者物価指数を累計し、右累積値が10%を超えるごとに、最低賃金を改定していたが、法律第5764号(2016年11月発布)が施行されたことにより、最低賃金は、消費者物価指数に応じ、毎年6月に改定される。2018年6月改定(大統領令9088号(2018年))により、2018年7月1日からの最低賃金は、前年から3.5%引き上げられ、月給2,112,562グアラニ(日給81,252グアラニ)となった。

#### (1)最低賃金の改定歴

期間	最低賃金(グアラニ)	前回からの増加率
2005/1/1 ~ 2005/3/31	972,413	
2005/4/1 ~ 2006/3/31	1,089,103	
2006/4/1 ~ 2007/9/30	1,219,795	
2007/10/1 ~ 2009/4/30	1,341,775	
2009/5/1 ~ 2010/6/30	1,408,864	
2010/7/1 ~ 2011/3/31	1,507,484	7%
2011/4/1 ~ 2014/2/28	1,658,232	10%
2014/3/1 ~ 2016/11/30	1,824,055	10%
2016/12/1 ~ 2017/6/30	1,964,507	7.7%
2017/7/1 ~ 2018/6/30	2,041,123	3.9%
2018/7/1 ~	2,112,562	3.5%

### 2 失業率

#### 失業率(年末値)推移:全国

期間	失業率(%)
2010年	6.0
2011年	6.0
2012年	7.9
2013年	8.1
2014年	6.5
2015年	5.3
2016年	6.0
2017年	5.3

出典:DGEEC: ENCUESTA PERMANENTE DE HOGARES

#### 失業率(四半期)推移:アスンシオン市及び大都市圏

期間	失業率(%)
2014年第1四半期	9.1
2014年第2四半期	7.7
2014年第3四半期	7.7
2014年第4四半期	6.5
2015年第1四半期	7.6
2015年第2四半期	6.7
2015年第3四半期	6.0
2015年第4四半期	5.5
2016年第1四半期	7.6
2016年第2四半期	8.9
2016年第3四半期	6.9
2016年第4四半期	7.4
2017年第1四半期	8.4
2017年第2四半期	8.9
2017年第3四半期	7.6
2017年第4四半期	

出典:DGEEC, ENCUESTA CONTINUA DE EMPLEO

## VII 実質GDP・名目GDP・経済成長率(パラグアイ中央銀行発表)

2017年の経済成長率(暫定値)は4.8%, 2016年の経済成長率は4.3%であった。

### 1 実質GDP(基準:2014年)・名目GDP

単位:千米ドル

年	名目GDP	実質GDP (基準:2014年)
2000	8,868	23,687
2001	8,495	23,489
2002	7,197	23,484
2003	7,692	24,499
2004	9,656	25,493
2005	10,784	26,037
2006	13,449	27,289
2007	17,911	28,768
2008	24,579	30,598
2009	22,377	30,519
2010	27,213	33,920
2011	33,782	35,361
2012	33,412	35,170
2013	38,517	38,131
2014	39,984	39,984
2015	36,285	41,216
2016	36,345	42,994
2017※	39,338	45,038

※暫定値

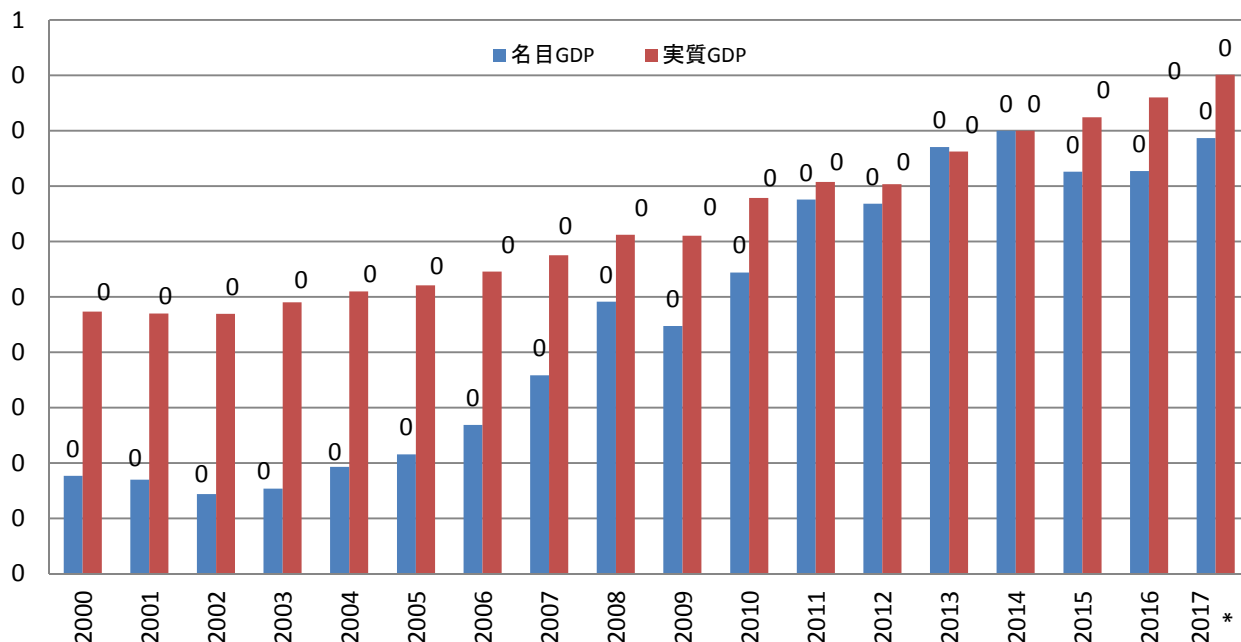
単位:%

年	経済成長率
2000	-2.3
2001	-0.8
2002	0.0
2003	4.3
2004	4.1
2005	2.1
2006	4.8
2007	5.4
2008	6.4
2009	-0.3
2010	11.1
2011	4.2
2012	-0.5
2013	8.4
2014	4.9
2015	3.1
2016	4.3
2017※	4.8

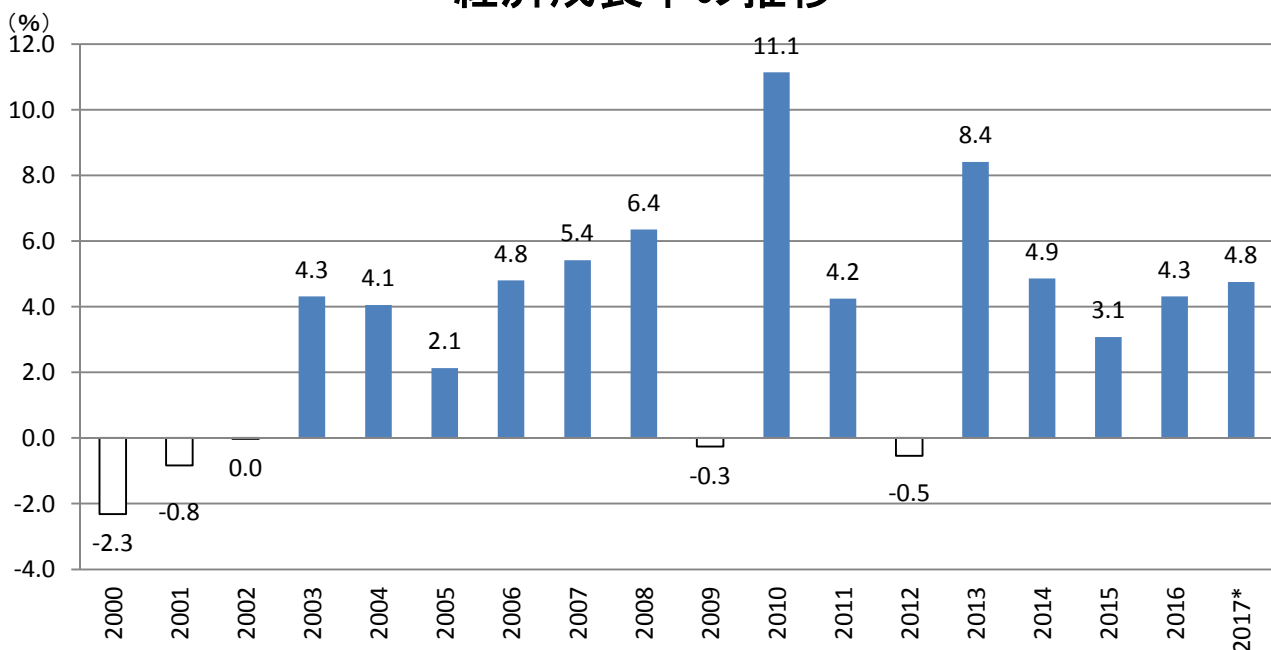
※暫定値

(億米ドル)

### 名目GDPと実質GDPの推移



### 経済成長率の推移



## VIII 9月 の経済トピックス

### 1 機械類(農機、道路・建設用機械)の輸入が増加

3日に発表されたパラグアイ自動車・機械販売ディーラー会議所(CADAM)のデータによると、農業及び道路・建設用機械の輸入は継続して高水準で増加している。本年1月～7月末の機械類の輸入額は、昨年比で53.5%増加している。セルビンCADAM代表は、「現在、輸入だけでなく販売も好調であり良い状況である。機械産業は、数ヶ月先を見越した在庫維持のための輸入を反映し、本年初めから良い状況が継続している」と述べた。

機械類のなかでも、農業機械は最も高い成長を見せており、昨年比約115%の輸入増加となっている。トラクターの輸入も昨年比79.3%で増加、噴霧機器も昨年比37.5%増加している。

道路・建設用機械は、昨年比42.3%の輸入増加である。内訳としては、ホイールローダー(トラクターシヨベルの一種)が昨年比111.1%の増加、フォークリフトが58.7%の増加である。

ブランド別で見ると、トラクターの場合、ジョン・ディア、マッセイ・ファーガソン、Case IH(いずれも米国メーカーのブランド)、ニューホランド(イタリアメーカー)、クラス(ドイツメーカー)が上位である。

### 2 ディエサ・グループ、ホンダ二輪車の新モデルを発表

3日、ディエサ・グループは、ホンダ社の自動二輪車の新モデルCB300Rを発表した。同モデルは、CB1000R及びCB125Rといったモデルと同様、スポーツネイキッド・タイプである。カリソサ社長は、「このモデルは理想的なものであり、ホンダの高い技術力、デザイン哲学、高品質生産を反映したものである」と述べた。

なお、本モデルはパラグアイ製ではないが、ディエサ社は、本年5月、2019年を目処にアルト・パラナ県にホンダの二輪車工場を稼働させる予定である旨発表している。

### 3 大豆輸出、中国企業COFCOが首位

16日に発表されたパラグアイ穀物・油糧作物輸出協会(CAPECO)の報告書によると、本年8月末時点で、中国系企業COFCO(COFCO International Paraguay SA)がパラグアイ大豆の輸出において油脂輸出企業のなかで首位となった。同社はパラグアイへの進出以来、大豆輸出分野で成長し続けている。

トマソーネCAPECO輸出アドバイザーは、同社は本年1月～8月の総輸出量(537万トン)の約15%にあたる82万7,000トンもの大豆を輸出し首位となった旨明らかにした。

次に輸出量が多いのが7月末まで首位であったいわゆる「穀物4大メジャー」の一つといわれる米カーギル社(81万2,000トン)、第3番目が露サドルーージェストヴォ・パラグアイ社(67万6,000トン)、4番目が垂Vicentin Paraguay社(65万2,000トン)となっている。

パラグアイの大豆輸出量(本年1月～8月)は昨年同期比3%の減少がみられ、CAPECOは、この減少はパラグアイ川の水位低下により輸出量が下がったことによると分析している。

パラグアイ産大豆の輸出先に多様性はなく、全体の63%がアルゼンチンに輸出されている。

10日の週、2018/19期の大豆生産が開始されたが、主に米国と中国の貿易戦争が要因となり、大豆の国際価格の下落が見られた。パラグアイ生産共同連盟(FECOPROD)のデータによると、本年中に大豆1トンあたり300米ドルの下落が見込まれる。しかしながら、本期間の開始時点パラグアイの生産者にとって気候は好条件であるといえ、生産性の向上が期待される。

### 4 商工大臣、商工省のサービス改善、Rediex再活性化、密輸対策を重視

17日、クラメル商工大臣はアスンシオン市内で行われた企業団体の会合で講演した。同大臣は、①商工省の同省管轄の産業にかかるサービスの改善及び手続きの簡素化を実施すること、②輸出を促進すべく投資貿易促進局(Rediex)の再活性化を含めた組織の近代化を図ること、③密輸撲滅に向け、大統領府から関係機関が連携するための対策が発表される予定である旨述べた。同大臣は、Rediexの活性化に関して、輸出促進を含めた工業、商業、サービス業に加えて零細中小企業への対応を重視し、本年末までには同活性化策を開始する旨述べ、「商工省を近代化するため、良きものは前例を踏襲しつつ、前進すべく改善していく」と明言した。

同大臣は、企業からのマキラ制度又は法律第60号(租税・税制優遇策)の他に新たなインセンティブ政策を実施する予定はあるかとの問いに対し、マキラのように既にある産業を重視する旨述べた。

### 5 ウーバー社が財務省と会合：パラグアイ進出に向けて税制を調査

27日、米国の配車サービス企業ウーバー社は財務省と会合を実施し、同社の事業を財務省へ説明するとともに、パラグアイの税制につき理解を深めた。会合にはドミンゲス税制担当副大臣が出席した。同社は昨年以降、パラグアイ市場に目を向けており、今回、初めて国家機関との正式な接触が行われた。

財務省と同社は、事業を開始した場合、どの税が課されるかを知るべく税制につき意見を交わした。同社はパラグアイ国民の正規雇用に貢献することができる旨述べた。ワイズ同社公共政策マネージャーは、パラグアイにおいて配車サービスに関心を示す人々が増えてきている旨述べた。

現在、同社は80カ国650都市で事業を展開しており、数ヶ月以内にパラグアイへ進出することが見込まれている。同社はLinkedIn等のSNSを通じて、パラグアイの運転手を探し始めている。

モラレス・アスンシオン・タクシー運転手協会(APTA)会長は、タクシー業界はウーバーは違法であると主張している旨述べた。また、配車サービスは市役所によって許可を与えられねばならない旨付言するとともに、タクシー業界として反対の姿勢を継続する旨述べた。

### 6 外国直接投資 2017年に22.9%増加：中央銀行発表

27日に中央銀行が発表した報告書によると、2017年の外国直接投資は4億5590万米ドルに達し、前年比22.9%の増加となった。主な投資目的は牛肉製造、金融仲介、不動産事業、商業であった。投資は主に米国から行われており、投資額は9億8400万米ドル(全体の16.3%)、次にブラジル、スペイン、ルクセンブルグ、英国が続く。